

令和3年度 第68回 全国高等学校ワープロ競技大会 (3. 8. 4)

【競技問題】

私たち人類は、科学技術の進歩により発展を遂げ、快適で便利な生活を送ってきた。しかし、地球温暖化や気候変動の加速により、人類の存亡の危機が迫っている。そこで、世界中の国や地域、人々が協力し、次世代以降も世界が存続できるように、問題解決のための取り組み目標を立てた。それが、SDGsである。

この言葉は持続可能な開発目標と訳され、17の目標と169のターゲットで構成されている。2015年に開かれた国連サミットにおいて、全会一致で採択された。持続可能な世界を目指すためには、社会と経済、環境の3要素の調和が求められる。例えば、貧困や不平等に関する問題を解決する際には、環境を守ることに配慮するよう設定されている。

日本では、食料自給率が先進国の中でも最低ランクであり、食料の半分以上を外国から輸入している。一方で、まだ食べられるのに捨ててしまうという、食品ロスの問題も抱えている。国内における廃棄量は、世界で飢餓に苦しむ人々への食料援助の1.6倍に相当する。その余った食料は焼却処分となるため、温室効果ガスが排出されて地球温暖化の問題にも影響する。私たちがサービスや商品を生産、消費する方法を変えることで、環境への負荷を減らさなければならない。

この問題に対し、政府は2019年10月に食品ロス削減推進法を施行して、消費者への啓発を図った。インターネットを利用した食品ロス削減レシピの発信や、期限表示の理解促進による早期廃棄の抑制なども行っている。企業も食べ物が劣化しにくいパッケージを開発し、廃棄するまでの期間を延ばし、食品ロスの削減に貢献している。また、商品を個包装にして、食べ残しを防ぎ、食品の無駄を減らす取り組みをしている企業もある。さらに、陳列棚の手前から商品を選び、販売期限の近いものから購入するキャンペーンを行うなど、消費者の購買行動に働きかけている。

最近では、SDGsの文字とともに、カラフルなアイコンを目にすることも増えた。これらは全世界共通のものであり、言葉だけで

| | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| はなくイラストでも表現することで、誰が見ても一目で内容が分かるように工夫されている。新聞や雑誌、テレビなどでも取り上げられていて、このアイコンをきっかけにして多くの人に関心を持ち始めた。環境問題や社会問題の解決と聞くと、個人で取り組めることではないと感じる人も多いようだが、個人の意識改革と日々の行動の積み重ねが大切である。 | 877 907 937 967 997 1010 |
| 例えば、一人ひとりが意識して、こまめに電気を切るようにすれば、限りある資源を無駄にすることが避けられる。紙パッケージの商品を選んで購入すれば、ビニールやプラスチックを減らし、海洋プラスチックや石油資源の問題解決に繋げることができる。気になる社会問題について、友人や家族らと話題にして他人の意見を聞くことも大切だ。課題解決に近づけるためには、このように個人でもSDGsを意識することが求められる。 | 1040 1070 1100 1130 1160 1190 1209 |
| では、その他に日本が抱えている課題には、どのようなものがあるのだろうか。世界の高齢化率ランキングを見ると、2019年に28%で過去最高を更新して、世界で最も高い数字となっている。今後もこの比率は上昇し、2040年には35%となり、国民の約三人に一人が高齢者となる時代を迎えるという。その時に備え、すべての人の健康や福祉を考慮し、世代や地域の格差をなくすようなケアシステムを構築したい。これは、目標10に掲げられた不平等の是正に繋がっている。 | 1239 1269 1299 1329 1359 1389 1419 1431 |
| また、日本は世界から、ジェンダーの平等とパートナーシップに関する目標の達成が、大幅に遅れているという指摘を受けている。これらの問題解決に向け、政府は法律の整備を推進してきた。企業でも、女性の賃金格差の是正や管理職への登用など、積極的な取り組みが進められている。誰も取り残さないというSDGsが掲げる理念を実現するため、行動すべき主体の一つとして、企業を明確に位置づけられていることは注目に値する。 | 1461 1491 1521 1551 1581 1611 1631 |
| 企業による社会貢献活動は、CSR（企業の社会的責任）と呼ばれている。企業は利益の追求だけではなく、地域や環境などに配慮 | 1661 1691 |

した企業活動を行って、社会に貢献することを目指している。これ 1721
までは、自社のイメージアップを期待して行うケースが多かった。 1751
現在の環境で企業が生き残るためには、SDGsを意識したCSR 1781
に取り組むことが必要不可欠である。 1799

例えば、海外では地球環境に大きな負担をかけている企業に対し 1829
ては、厳しい批判の目が向けられる。消費者より責任を求める運動 1859
が起こり、不買運動に発展するケースもある。さらに、銀行からは 1889
融資を断わられることもあるという。有名な衣料企業や化粧品会社 1919
では、使い捨てのプラスチック包装を撤廃して、再利用可能な包装 1949
に移行したり、堆肥として利用できる原材料を用いたりしている。 1979
企業は積極的なリサイクルへの姿勢を打ち出すことで、消費者から 2009
好意的な評価を受けることができる。 2027

日本でも、環境省の持続可能な開発目標活用ガイドには、企業に 2057
対していくつかのメリットが挙げられている。海外で展開されてい 2087
る事例のように、SDGsへの取り組みをアピールすることが、多 2117
くの人からの信頼を勝ち取ることに繋がる。この会社で働いてみた 2147
いという印象を与えるので、多様性に富んだ人材の確保に繋がる。 2177
また、企業間の生存競争が激しくなる中で、課題に取り組むことが 2207
新規の取引条件になる可能性がある。これはESG投資と呼ばれ、 2237
環境問題や社会問題に取り組んでいるかの非財務情報も、投資先の 2267
検討材料にするというものだ。 2282

あるウォーターサーバーの設置会社では、ペットボトルを減らす 2312
ため、ボトルフリープロジェクトを開始した。これは、マイボトル 2342
を持参してもらうことで、無駄なペットボトルを減らす取り組みで 2372
ある。具体的には自治体と連携して、公民館や図書館などの利用者 2402
に対し、無料で利用できる給水スタンドを設置している。自治体と 2432
一緒にチャレンジすることで、新たな発想が生まれ、環境意識を高 2462
めることにも繋がった。 2474

世界に目を向けてみると、約7億人が極度の貧困の中で暮らして 2504
いるのが現状である。安全な水を確保できない人は、約7億8千人 2534

| | |
|---------------------------------|------|
| もいる。今のまま海洋汚染が続くと、海に棲む生物より捨てられた | 2564 |
| ごみの量が多くなっていく。このような課題を改善するためには、 | 2594 |
| 個別ではなく包括的な取り組みが必要である。現在、一部の地域で | 2624 |
| は、水圏生態系の保護や衛生施設の支援が実施されている。また、 | 2654 |
| オーシャン・クリーンアップ作戦という、プラスチックごみの回収 | 2684 |
| が行われている。 | 2693 |
| 日本では、4年後に大阪・関西万博が開催される予定だ。メイン | 2723 |
| テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」で、課題が達成された | 2753 |
| 社会を表現したという。世界中から注目を浴びているイベントだから | 2783 |
| こそ、この課題の取り組みに積極的に貢献することで、輝かしい | 2813 |
| 未来を示したい。 | 2822 |
| SDGsの達成目標年度である2030年は、すぐそこまで来て | 2852 |
| いる。国境や国籍を越えて、すべての人々が安心して暮らせる世界 | 2882 |
| であってほしい。特に、環境や気候変動などの問題は待ったなしの | 2912 |
| 状況にある。誰も取り残さない世界は、本当に実現することができる | 2942 |
| のだろうか。気づいたときは手遅れだったということにならない | 2972 |
| ように、今すぐ行動を起こさなければならない。当事者意識を強く | 3002 |
| 持ち、未来の自分とその子どもたちに対し、責任ある行動を示して | 3032 |
| いきたい。 | 3037 |